

注我合だより 入善

にゆうぜん



6月定例会(平成6年)

- ★ 定例会の概要
平成6年度補正予算(第1号)
平成5年度補正予算(第6号) …… 2頁
- ★ 一般質問(8議員登壇) …… 4頁
- ★ 議会だより編集・新体制で!! …… 13頁
- ★ 3常任委員会・審査報告 …… 14頁
- ★ 町内・海外(中国・はみ哈密市)視察記 …… 16頁
- ★ 傍聴席から …… 18頁

(写真) ラジコン・ヘリコプターによる農薬散布



暑中お見舞い申し上げます
入善町議会

今年度から3カ年計画で

大改造される入善西中学校

6月定例会

平成6年度

一般会計補正予算

2億7,277万1千円

総額 105億8,190万1千円

日本経済の本格的な回復と安定成長をめざした国の当初予算は、成立が大幅に遅れ、公共事業等への影響が懸念される中で上程された補正予算の主な内容は次のとおりであり、すべて原案を可決した。

入善西中学校

大規模改造

建築以来、二〇年を迎え、老朽化が著しく、今年度から国の補助を受けて、屋根や内外装などを改修する。

(一億二、七三〇万円)

農道・土地改良・

林道の整備・舗装

団体営、又は単年の事業に伴うもので道路の拡幅や舗装、あるいは生産資源を確保する。

(八、九八六万六千円)

元、米沢元健氏の

土蔵移転

中央通り線の改良に伴い、今年度に中央トイレ及びバス停の改築が進められるにあたり、元は米沢元健氏の取蔵庫であった土蔵を移転併設し、復元修理することにより資料展示やミニギ

ャラリーとして活用する。

(七五六万六千円)

横山保育所修繕

建設以来、一三年経過し屋根の修繕をする。

(七〇〇万円)

無人ヘリコプター

導入に補助

二十一世紀、「米づくり実践事業」として平成五年度から取り組んできた無人ヘリコプター導入事業に国県補助事業として認定されたことから補助金の増額をする。

(三二九万九千円)

中国・哈密

調査団派遣

西瓜を通じた国際交流をはかり、将来的な姉妹都市提携を模索するため、中国の哈密市へ調査団を派遣する。

(九〇万円)

6月定例会 議事日程

6月14日(火)

- ◎議会広報編集特別委員会設置
- ◎専決事項の承認
平成5年度入善町一般会計補正予算など4件
- ◎平成6年度入善町一般会計補正予算など6件

6月15日(水)

- ◎一般質問通告締切
- ◎議会運営委員会

6月17日(金)

- ◎一般質問(議員8名)
- ◎請願(第4号)1件
- ◎陳情(第10号)1件

6月20日(月)

- ◎総務常任委員会
- ◎文教厚生常任委員会

6月21日(火)

- ◎産業建設常任委員会

6月23日(木)

- ◎各常任委員会の審査報告
- ◎入善町固定資産評価審査委員会委員の選任(小瀬戸敏彦氏)
- ◎人権擁護委員の推薦につき意見を求める(前田郎子氏)
- ◎議員提出議案(第7号)
カッパ農業合意の国会批准ならびに平成6年産米の政府買入価格、米の生産・流通等に関する意見書
- ◎議員提出議案(第8号)
こみの発生を抑制するために製造・流通等における規制を求める意見書
- 議員提出議案(第7号・第8号)は内閣総理大臣、ならびに関係大臣に提出する。



今定例会の専決による補正予算額は、三億四、二一七万九千円で原案のとおり承認した。その主な内容は、今後、予定される大型プロジェクトの実現や、将来の公債費負担に対応す

るためのもの、あるいは、福祉医療費の確定によるものである。

- 減債基金に積み立て三億円(総額・一五億九、九五〇万円)
- 財政調整基金など各基金利

6月定例会の詳細については議会事務局におたずね下さい。
電話 071-1100番

- 要援護対策・医療の費用や件数の確定などによる減額九二七万一千円

補正額

3億
4,217万9千円

総額

110億
8,971万5千円

承認

一般会計補正予算(第6号)

平成五年度

- 子の確定による積み立て六、九〇四万九千円(財政調整基金、総額・一億四、一六〇万円)
- 財政調整基金からの繰り入れ取りやめによる減額一億円
- 借入金利の低下による公債費利子償還金の減額二、一四〇万円

一般質問



庁舎一階ロビー

8議員が登壇
町政を問う
変革第1弾

第4回定例会
一般質問

今定例会の一般質問は、6月17日に行われ、8人の議員が登壇し町長に対して町政の基本姿勢をたじた。議運で協議し、今定例会から、議会の運営をつぎのように改善した。

- 第1点…一般質問は1議員、質問・答弁併せて原則40分の持ち時間制とする。
- 第2点…議会広報は特別委員会を設置し、6名の委員が編集にあたり、定例会終了後、1カ月以内に発行する。
- 第3点…一般質問者は自分の質問要旨と答弁のテープで原稿を作成し、提出する。
- 第4点…本会議場の模様を庁舎内テレビで放映する。

以上4点の改善は、常に町民に対してひらかれた議会、関心をもってもらえる議会活動をめざしたもので、とりわけ親しみのある、「議会だより」を熱の冷めないうちに発行することを主眼においたもので、町民のみなさん、どうぞご期待下さい。

〔一般質問〕

発言者と質問点

- | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|---|---|
| 東狐 和議員……………8P
(一)人権擁護に関する諸問題
(二)いじめ対策 | 五十里隆章議員……………7P
(一)文化遺産の保存と管理
(二)すずらん教室 | 田原 進議員……………6P
(一)旧北陸農政局の利用
(二)繰越明許費の多い理由 | 広瀬喜代志議員……………5P
(一)町内企業の雇用現況
(二)自然環境の保護政策 | 岡島 功議員……………9P
(一)出し平ダム試験排砂
(三)国際交流事業 | 大林政雄議員……………10P
(一)固定資産評価見直し後の課税
(二)宇奈月ダム関連 | 西尾政巳議員……………11P
(一)町営駐車場
(二)保育料
(三)六年産米売渡量の地区配分 | 九里郁子議員……………12P
(一)ゴミ問題
(二)通学路の整備と安全性
(三)医療問題 |
|---|--|--|--|--|--|---|---|

一般質問

環境の保護は町政の基本

町長 自然保護は今後の重要な政策のひとつ

問 町内企業や新川広域圏における、雇用状況はどうか。

町長

雇用の安定政策は誠に重要であり、町民の生活の安定を図るために施策を検討しなければと、常に前向きに考えている。幸にして企業の誘致などがあり、極端な落ち込みはないが、より一層の努力を一町のみではなく、新川広域的な視野で取り組むたい。時代の流れを自覚しながら、雇用安定に努力をしていきたい。

問 来春、卒業予定者の就職戦線について変化は起きていないか。

商工水産課長

入善町の主な企業に問い合わせたところ、今年度と同数採用企業4社、今年度より採用半数の企業5社、欠員が生じたな

ら採用したいが1社、また、新川広域圏も誠に厳しい状況である。

問 町長は文化面に対して極めて有能であるが、商工業対策に対して少し弱いのではないか。

町長

商業を取り巻く環境は誠に厳しいものがあり、商業に取り組む姿勢は一町長のみの方でどうこうできる問題ではなく、商工会を中心とした皆さんが積極的に問題を模索し、町当局に相談するなりして取り組まなければならぬ。コスモへの既存業者の店舗、又来年七月開業予定の入善ショッピングタウンへの出店、隣りの黒部市における大型店の問題等もあり、町としても対応策を検討しているが、当事者の方より一層の努力をお願いするものである。



議員 広瀬喜代志

清水が湧き出る清水川(通称:庄助川)



問 中小企業退職金制度の状況はどうか。

町長

退職金の確保は雇用安定に連なる重要な問題であり、県下35市町村の中でも、我が町はいち早く入善町中小企業退職金共済加入促進助成金を交付している。長い間、勤めているのに退職金が支給されないようでは、誠に気の毒であり、町民の幸せのために商工業の工業部会などに加入を呼びかけて行く。

問 自然環境の保護政策はいかにあるべきか。

町長

「開発、開発」の合言葉のもとに犠牲になった自然への取り組みは、人間の犯したおろかさに対するツケとして復元に取り組むことになった。いかに自然を

大切にしなければならぬかを学び、町民全体がこの問題を真剣に考えて、自然の保護に取り組むべきであろう。今後、重要な政策の一つとして取り組むたい。

問 庄助川改修工事計画があるかと聞いていますが、これに対していかに取り組むのか。

町長

庄助川は、湧水による頭無し川として貴重な川である。県営の特別事業として、平成七年から三方年計画で取り組むとのこと、県、町、土地改良区で協議中である。改修については、用排水としての用途もあり、自然保護の立場からも、充分、検討し将来に禍根を残すことのないよう取り組みたいと思っている。

一般質問



▲効率的な活用が望まれる旧北陸農政局（事務所）

旧北陸農政局（事務所）の
利用について

町長

土地改良区連合事務所に

利用の予定

問 町は、国営黒部川沿岸農業水利事業の完工により、庁舎・宿舍を九一一万円で購入したところだが、この施設の利用をどのように考えているか。

町長

国営事業の完成による事務所等の払い下げ購入については、平成五年度補正予算で計上し、庁舎を六九二万円、宿舍を二一九万円、合計九一一万円で購入したものである。利用については、黒部川沿岸土地改良区連合事務所として使用の要請があり、これに応えるべきと考えている。また、町内土地改良区の合併による事務所の入所をも考えているが、自主的判断を基本に、合併できることから入所し、活用されることを期待する。

問 環境整備の点から、将来この庁舎・宿舍へ、シルバー人材センター、すずらん教室等に利用する考えはないか。

町長

シルバー人材センターは、老人福祉センターの管理運営も委託しているので、老人福祉センターから独立することは如何なものかと思う。現状では、作業場として倉庫等の使用を考えている。宿舍の活用は、六畳の和室が六室ある。例年、農業体験に大阪府岸和田市から子ども達が来町するので、その折に使ってもらうとか、本年は高校総体もあり、高校生の宿舍、または、スポーツ少年団の合宿等の活用も考えている。すずらん教室については、町外からの通所者も

田原 進 議員



おり、交通の便等を勘案し考えていない。

問 報告第三号において、件数で九件、金額では四億七、八六〇万八千円の繰越明許をしているが、五年度残事業が、次年度事業に害を及ぼさないか。

企画財政課長

平成五年度繰越明許費は、景気浮揚を図るための、国の第三次補正予算の受け入れによる公共事業前倒しを行うものであり、平成六年度予算の公共事業費は例年に比べ、減少が予測されるが、繰越分を合せると総体的に増大するものと考えている。

一般質問

文化遺産の保存と管理は…

町長 歴史と風土を大切に保存

問 現在、中央駐車場に移転されている土蔵は、どのように活用し、また、検討内容はどうか。

町長

米沢元健さんゆかりの土蔵であり、中央駐車場公衆トイレの改築に併せて、隣接して古文書ミニ展示館として活用したい。庁議で検討したし、予算措置についても問題がない。

問 地区更新計画、中央景観事業との関連はどうか。

町長

計画は計画として、現実対応も必要。計画の推進にも努力したい。

問 文化遺産の管理保存は、関連性あるものをまとめた方がいいと考えるが。

町長



五十里隆章 議員

東京一極集中か、分散かと同じように、集中か分散か悩みがある。それぞれの建物のもつ歴史と風土を大切にして、保存管理したい。



▲中央駐車場に移転されている土蔵

問 旧東部保育所を改装して、すずらん教室を移設することは、東部保育所の環境整備、防火水槽との関連等から不相当と考えるがどうか。

町長

当面の問の利用だということだが、将来計画はどのように考えているか。
建築後二五年位で、充分使える。すずらん教室への通所者のためにも、便利な場所と考える。東部保育所と併設しても、そんなに不自由とは思わない。適当な時期に、国庫補助事業など活用して対応したい。



▲すずらん教室に改装される旧東部保育所

一般質問



▲来町したオレゴンの中高生たち

いじめの実態と
教育指導は……

学校教育課長

学校と家庭が連携して
子どもを見守る

問 全国でいじめによる生徒の自殺事件が発生している。入善町での「いじめ」の実態はどうか。

学校教育課長

当委員会は校長を通じ、日常的に保護者と連絡をとり、「いじめ」の未然防止と早期発見に努め、現在のところ、管内に心配されるような「いじめ」の事実はないものと思う。

問 教育相談の内容など、対策はどうか。

学校教育課長

教育相談の主旨は、進路や学習の進め方が主で、「いじめ」に関してはないようである。校長を通じて指導として、子どもと教師間の信頼関係、教師の人権感覚の大切さ、正義がとおる学級・学校づくりをすすめる、子どもの責任感と自治能力を育

東 狐 和 議員



てる事が「いじめ」防止になると考えているが、何よりも学校と家庭が連携し、子どもを見守る事が大切である。以上の点を基本に指導している。

問 対策の効果と評価はどうか。

学校教育課長

心配な事実が無いのはそれなりの効果があがっていると思うが細心の注意を払う。

問 人権擁護から夫婦間暴力やセクハラについての考えは。

町長

人権擁護等については、特設相談員として、法務局職員や女性を含む四人の人権擁護委員がいる。また他町村に先がけて新設した女性係長を研修終了後、相談窓口として対応する。月一回中央公民館で人権・行

政・税について相談日を設け、無料、秘密厳守で対応する。
夫の暴力やセクハラは町民ぐるみで排除し、暴力のない家庭、職場環境づくりを男女共同ですすめていきたい。

問 国際交流について、基本的な考えと、国際基金をどのように運用するのか。

町長

町として、国際交流の促進を積極的にはかる。アメリカ・フオーレスト・グロープ市と姉妹提携後、一段と交流が深まり、六月、オレゴン教育訪問団が来町し、中高生など若い世代を中心とした町民とが交流している。
国際交流基金、九、七〇〇万円は一億円に近づけ果実をあげて、国際交流費用の助成は、目的と計画によって対応する。

一般質問

出し平ダム 試験排砂の影響は……

町長 追加調査に協力し
町民の生活と権利を守りたい



岡島 功 議員

問 二月二十八日に実施された出し平ダムの試験排砂について、六月十五日に開催された、出し平ダム排砂影響検討委員会での報告の内容を詳細に説明願いたい。問題点として

(一)、排砂量が当初、五万^mの予定が八万^mに量が増えた原因は何か。

(二)、魚類、地下水への影響調査が行われていない。

(三)、ヒラメ、イワナ等、魚貝類の死因の特定がなされていない。

(四)、回遊魚に対する影響調査がなされていない。

(五)、堆積土砂の今後の影響調査がなされていない。

これらの問題点をふまえて、今年度末までに結論を出すとの事だが、その間、開催される検討委員会に対して、当局の取り組み姿勢を問う。

〈関連質問〉九里 郁子議員

(一)、検討委員会の結果報告をどのように受けとめているのか。町として今後の排砂についてどのように考えているか。

(二)、町が主眼をおいて、実施した調査結果はどうだったか。

(地下水、ヘドロの堆積、水質水性植物等への影響等)

(三)、地下水や湧水への追跡調査はどのように実施しているか。今後の計画は。

町長

三月一日から溪流魚の解禁が行われると云う切羽詰った中で試験排砂が行われ、事故も無く調査等が終って良かったと思う。試験排砂の実施について、賛否両論があったが、内水面について補償金をもらっていると聞いているので、海面についても、

その様に被害があれば補償金でその形で了解をしているものと思われる。

黒部川の地形等を考えたと試験排砂はやむを得ないと思う。

これからのダム管理のあり方について一石を投じたものと思われ、又、ダムと地域住民との共生を考えて行かねばならないと思う。

六月十五日には、色々な資料の提出があったが、平成七年三月末までに四回位の検討委員会

が開催される予定であり、従って、結論は三月と云う事である。

ヒラメ等については科学的原因を追求して調べると云うのは、非常にむずかしいと考えられる。

しかし、町としては、調査に協力をし、町民の生活や権利を守りたい。稲作には、今、直接的な影響はないと思われる。

町として、ヘドロ等の地下水への影響はもとより、水性植物等への追跡調査が必要で、今後進めて行かなければと考える。



▲排砂による汚濁を調査する町職員

一般質問



▲平成12年度の完成をめざす宇奈月ダム
（このダムは、洪水調節を主目的に、水道用水の供給や発電を合わせた多目的ダムとして計画された。）

宇奈月ダム建設と

水道水の関係は……

町長

恵まれた地下水を

大切に保全確保

問 宇奈月ダム建設は多目的に利益をもたらし、喜ばしい事であるが、水道水の供給量で魚津市一八、〇〇〇、黒部市一五、〇〇〇、朝日町六、〇〇〇、宇奈月町七七、〇〇〇、わが町は八、〇〇〇トン毎秒とあるが何を基礎に算出されたのか。
魚津市への供給は流域変更にならないか。又、供給水の対価は決まっているか。

町長

私が町長に就任する二、三年前にこの数字が示されたと理解している。推察するに入善町は戸数約八、〇〇〇、一戸当り一㎡と見ての数字かと思われる。

魚津市は、目下計画中の片貝川ダムの完成を見れば黒部川の水は不要となるのではないか。

大林 政雄 議員



また対価は愛本取水口でトン当り一〇〇円と仄聞している。これが各家庭の飲料水として供用されれば三〇〇円位になり、現在、二〇円の水道水と比べて、あまりにも高い。従って二市三町とも希望がないと考えられる。

当町としては、供給水量を常に確保しつつ恵まれた地下水を汚さず大切に保全し、飲料水の確保に努めたい。

問 固定資産税は本町歳入の12・8%を占める貴重な自主財源である。三年毎の評価見直しにより、公示価格の三、四割から七割に引き上げられ、町民の不満から滞納が発生するおそれがないか。

納税通知書がすでに発送されているが、異議、苦情等の申し立てはないか。

町長

ご意見の通り、貴重な財源であり、評価額の七割に引き上げられ、増税感が強いとのこと指摘はごもっともである。

しかし、負担調整率により算出されるので懸念される程の上昇はないと思われる。

目下のところ異議の申し立て等は皆無である。

税務課長

結論として新増築以外の住宅は六%安くなり、宅地については五%の伸びであり、平均して九七%の方々が二%程安くなるとうことになる。

一般質問

本年度の事前売渡数量の 配分について

助役 農家の保有米の確保を前提に 調整を進める



西尾 政巳 議員

問 町民の利用する町営駐車料金が割高と云われ、町民の不満が聞かれます。中央駐車場では月額五、〇〇〇円、農協や駅前では三、〇〇〇円であり、一方、黒部市などでは、三、六〇〇円と聞いている。料金の設定を見直す考えはないか。

町長

町の駐車料金が高いとのことであるが、私は特別高いとは考えない。無料駐車場もあり、見直しが必要なきは議会とも協議し、検討したい。

問 本町の保育料は朝日町より高いが、その差は最高月額、三歳未満児で五、六〇〇円、三歳児は四、三〇〇円、四歳児以上で一、四〇〇円高いと聞くがなぜか。

町長

町の保育料が朝日町より高いと云われるが、財政面、又は職員対応、共に精一杯取り組んで来た。私の意に反して高いと指摘され、ショックを受けた。担当課長より答弁させる。

企画財政課長

保育料は、国の規準では七六%の負担となっているが、現在、町では規準を超えて二億円の負担を行っている。財政負担割合は市町村一律ではなく、今後も現行の負担割合を継続したい。

福祉課長

現況では、朝日町よりやや高いようだが、町の財政負担額等を見きわめながら、少しでも軽くするよう努めたい。

問 本年度産米売渡数量はどのように配分したのか。町への配分数量は二七四、二〇〇俵に対し、農家の予約希望数は二五二、一六〇俵であり、二二、〇〇〇俵の差がある。農家保有米の確保はできるのか、また、未達成のベナルティはあるのか、特裁米はどうなっているか。

助役

売渡数量の配分は国から県、町へ配分されている。ご指摘の配分量は農家の予約量を大きく



▲次代を担う子供たち

上回り、再度、農協などと調整を進めている。
今年には保有米の増も見込まれ、又、超過米との関係等を考慮し農家の保有米の確保を前提として行うべきである。
ベナルティはないと聞いている。

一般質問

炭カル袋で、ごみは解決するか！
住民に高価格の袋を買わずだけ

町長 原点にかえて論議する



九里 郁子 議員

問 来年四月から導入の有料指定ごみ袋は、ポリ袋と燃焼カローリは変わらず「炭カル袋は炉にやさしい」との根拠はない。色付きポリ袋は、リサイクル製品であるが、炭カル袋は、再生原料を使用せず、リサイクルに逆行する。ごみ袋は自由にすべきである。

製造、販売元の企業に回収・再利用の義務付けなどを政府や企業に求める運動が必要である。ごみ処理施設の建設費一四億円の根拠を議会に示せ。

町長 官沢処理場で爆発事故があり、中が見える袋が望ましい。炭カル袋の科学的な根拠については明示できない。建設費については、私も疑問をもっている。炭カル袋も含め、原点にかえり、各市町と議会で論議する方向で

取り組みたい。

環境保健課長

炭カル袋は、住民サービスの公平化をはかり、自分のごみに責任をもち、ごみを減量化でき

問 ひばり野小学校や栢山・横山の統合小学校をはじめ、通学路の安全確保は万全に。

休止になった路線バスの復活や代替手段で、高齢者や子どもの通院、通学の足を守れ。

町長

通学路の安全確保のため、栢山・横山統合小学校の完成までに国道八号線に地下道を設けた

い。福祉バスは検討したい。路線バスの運営にかかわることは難しいが、交通弱者に行政としてかかわることは大切である。

学校教育課長

今江地区内の消雪装置は今年度完成する。歩道の除雪は県土木事務所に陳情を重ねたい。

建設課長

上青小学校前の道路舗装は町単独事業で少しでもやりたい。

問 一人平均約三千円の国保税増額は家計を圧迫するものであり、値上げはやめるべきである。

国庫負担割合を元の四五%にもとすよう国に強く要請された

い。高額療養費委任払い制度の取

り組み状況と対応はどうか。
二歳未満児の医療費助成は窓口無料を含め、利用しやすいよう十分検討を。

環境保健課長

高齢者の加入増や医療費増が国保税を圧迫している。

委任払いは富山市など五自治体の実施。黒部市民病院などに申し入れたが市町で検討中とのこと。貸付制度を利用されたい。

幼児医療費助成制度の利用は一カ月約七〇件。一歳未満児の約一・四倍。町内医療機関に申請用紙を備えつけてある。



▲利用者の多いスーパーのレジ袋



▲第1回編集委員会

「議会広報編集特別委員会」を設置

新体制で

『町民に親しまれる議会広報』を!!

入善町議会だよりが、昭和49年4月に創刊して以来、今年で20年、88号を数えるに至りました。そして町民の皆さんに議会の活動やうごきを知って頂くパイプ役を果たしてきました。

これをさらに身近かに、親しまれる広報をめざして、今までの議会運営委員会が担当していた、「議会だより編集委員会」から新しく、「議会広報編集特別委員会」という正規の議会活動に生まれかわりました。

これを機に、「よりわかり易く」、「より速く」、「傍聴者の声も参加」した、議会広報に努める所存です。町民の皆さんに今まで以上に関心を持っていただき、議会を傍聴してもらったり、広報への寄稿や、写真で紙面に参加していただくなど、「議会だよりが家庭へ配られる日お待ちどおしい」と言われようような編集をつよく念願しております。

◆わたしたちが
担当します◆

6月14日に設置された「議会広報編集特別委員会」の構成はつぎの六名です。

- 委員長 板川 清治
- 副委員長 九里 郁子
- 委員 福沢 憲一
- 同 本多 幸男
- 同 早川 誠一
- 同 五十里隆章
- オブザーバー：議長



常任委員会審査報告

職員の配置計画と臨時職員の

雇用のあり方に疑問

総務常任委員会

副委員長 岡 島 功

- 歳入の特徴は、西中学校大規模改造事業費補助として、教育費国庫補助金が決定された。この事業は、当初予算で三、〇〇〇万円計上されており、今回の補正で総事業費は一億五、七三〇万円に拡大した。
- 公債費国庫補助金一、六二〇万円は、平成三年度、無害町づくり事業で借入したN T T債の繰り上げ償還であり、国の指導によるものである。
- 国際交流推進事業費九〇万円は、中国、哈密市のスイカ等の視察であるが、将来的な友好提携調査や古い文化の見聞など、幅広い訪問派遣を期待する。
- 職員の減少分を臨時職員で対応しているが、職員の配置計画と臨時職員の雇用のあり方に疑問を持つものである。
- 国民健康保険税引き上げの主な要因は、医療費の増高、税収の減少であり、所得割においては、加入者の高齢化、所得の減少傾向、あるいは、昨年の農業所得の減少が大きく影響しているものである。
- 県下市町村に比較し、低い税率であり、国保財政の現状からぎりぎりの引き上げと考える。今後とも、市民の健康と財政の健全化をはじめ、適正診療など、一層の努力を期待する。

建物は保証期間中の巡回など

維持管理の徹底で経費節減を

文教厚生常任委員会

委員長 西 尾 政 巳

- すずらん教室は、旧東部保育所を改装して移転することになっているが、駐車場問題や通所者の父母からは別の場所での独立施設建設が強く要望されている。
- 老人福祉センター駐車場拡張は、建設時に将来を見通した設計等考慮すべきである。
- 福祉課、学校教育課に共通しているが、雨漏りの修繕などは、保証期間中の巡回など、維持管理を徹底し、最小の経費で対応できるように努力すべきである。
- 西中学校大規模改造は、国庫補助対象規準が来年度以降であるところを一年早め、生徒に配慮した対応であり評価したい。
- 海外研修補助は要項や規則を制定し、適切な対応を要望する。
- 障害者の雇用は、地方自治体に義務づけられた雇用率を超えた門戸の開放を要望する。
- 町民会館イベント広場へのテナント設置は、町民会館全体のイメージを壊しかねない。
- 多額の経費をかける建物は特に事業計画の段階で、先を見越した検討と配慮を要望する。
- 美術品購入費一〇万円は指定寄附であるが、口答での申し出である。財務規則第三二条では、寄附者の住所、氏名、印、金額、目的を記載した申込書で受け付け、寄附の採否についての意見を付し、町長の決裁を受けることと定めている。
- 今後は、絶対に行政事務を口答で処理すべきでないことを指摘しておくものである。
- ごみ問題は、一地方自治体では対応しきれない状況であり、政府、関係機関に意見書を提出すべきものである。町も、近隣市町に呼びかけ、関係官庁に積極的な要請書の提出を要望する。

常任委員会審査報告



▲整備が急がれる中央通り線

- 無人ヘリコプター導入は、中核農家だけではなく、一般農家の要望も取り入れた、公正な利用を望む。
- オペレーター養成は、後継者の育成に力を入れて頂きたい。
- 今後は、中核農家の後継者問題もあるが、引き続き無人ヘリコプター導入を促進されたい。
- 商工振興条例による工場緑化
- 推進補助は、商工業の奨励の観点から適用範囲の拡大など再検討すべきである。
- 基幹道路の整備促進を望む。
- 道路舗装は町民生活に関連した身近な問題であり、請願、陳情など要望も多く、九月補正での実施を要望する。
- 国道八号線拡幅やバイパス事業は、全線の早期着工、早期完成を目ざし、最大限の努力と、すみやかな対応を望む。
- 中央通り線も残された区間の推進に努力していただきたい。
- 土蔵の復元工事は、都市計画の調査事業との整合性など、充分論議すべきである。
- 沿岸漁業が停滞することのないうように、入善漁港出入口の土砂を取り除く災害復旧事業を早急に実施し、水産業の振興に力を入れていただきたい。

産業建設常任委員会

委員長 広瀬 喜代志

国道八号線拡幅やバイパス事業は
早期着工、早期完成に努力を

意見書

- 請願の採択
- 政府など関係機関へ送付

◆ガット農業合意の
国会批准を
行うな

米の完全自由化と農業破壊につながるガット合意の国会批准を行わないこと。

生産者米価の引き上げを行うこと。食糧管理制度の基本を堅持すること。他用途米制度を廃止すること。

※提出先 内閣総理大臣
大蔵大臣
通産大臣
農林水産大臣

◆ごみの発生を抑制
するために
製造、流通等の
規制強化を

一自治体のリサイクル率を高めるだけではごみの減量は望めない。

ごみの発生を抑制するために「廃棄物処理法」及び「再生资源利用促進法」を改正し、商品の製造、流通等における企業の規制強化と指導を行うこと。

※提出先 内閣総理大臣
通産大臣 厚生大臣
建設大臣 自治大臣
環境庁長官

町の固定資産評価審査
委員に小摺戸敏彦氏の
選任に同意



小摺戸敏彦氏
(入籍5309)

平成6年(6月30日)を
もって任期満了となる
ので同氏を再任するこ
とに同意
(任期は3年間)

人権擁護委員に
前田郁子氏を推薦



前田 郁子氏
(小杉223)

本委員は、法務大臣
が委嘱するもので入善
町長より同氏を答申す
ることに決定
(任期は3年)

町内視察



▲疑問視される?ふるさと文化伝承館

行政に無駄がないか?

|| 町内施設巡回でチエック! ||

福沢憲一議員

議員になって、月日の経つのは早いもので、八カ月が経った。去る、六月十日に議会で町内施設を巡回して、施設の状態や利用状況を調査したところである。その中から、杉沢の沢杉とふるさと伝承館や、元米沢元健さんの土蔵について述べたい。

最初に、沢杉について昔は、いたるところに林があり、昭和三十年代から昭和四十年代にかけて行われたほ場整備事業等により、農地になってゆき、今は町内に残っている所は、ほかにはない。

中でも湧き水が出ている林はここだけとなった。

杉林の中には、色々な植物が自生しており、大変貴重な林だが、年々湧き水が少なくなり、自生している植物の形態が変化するので、心配されている。幸い平成六年度より三カ年かけ国の補助事業として整備されることは、自然環境保護の面から

も又、後世に残すためにも必要な事業だと強く感じた。

次に、ふるさと伝承館や土蔵について、町当局の説明では、古い文化遺産を保存し後世に残す必要があるとのことである。私も古い文化遺産を保存し、後世に残すことは、大変良いことだという思いがあるが、町内一円に散らばって残すことには、町民の方々の理解が得られないのではないかと。例えば、富山市の民俗民芸村のように、一カ所に集め、町民や町外の人達が、そこに行けば色々な文化遺産を見れるというようにすれば、どうだろうか。そうすれば、より町

民の方々の理解を得られると考える。但し、多くの自治体は二十一世紀は、福祉の時代で、多額な予算が必要となり、社会資本の整備に手が回らなくなることを考えられる。現在、社会資本の整備に力を注いでいる各自治体の現状を見ると、文化遺産等もとても大切だとは思われるが、今は、社会資本の整備に力を注ぐことが、急務ではないかとの思いを強く感じている。

述べたいことは、まだ、たくさんあるが、今後は、町民の方々と話す機会が多くなると思うので、これで調査記を終りにしたい。

富山県町村議会議長会
「自治功労表彰」受賞

石川昭男議員



本田幸光議員

六月六日、開催された富山県町村議会議長会臨時総会において、本田幸光議員、石川昭男議員、並びに岡島松次郎前議員が議員として二十年以上在職し、地方自治の振興発展に貢献されたことにより、自治功労表彰を受けられました。

また石川議員は、前任の富山県町村議会議長会会長として、その功労を称え感謝状が贈られました。

海外視察 五十里降章副議長



▲ 沙漠と遺跡

日程概略

7月5日 成田発北京經由ウルムチ着

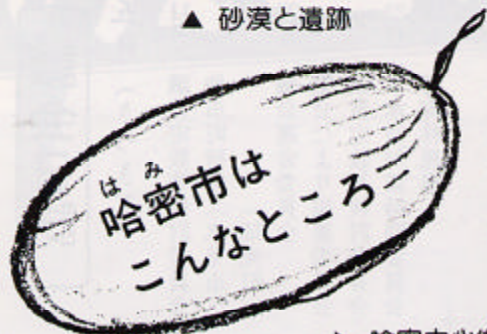
7日 哈密着、行政公署訪問、産業視察、ハミウリ畑視察、遺跡見学等

8日 友人親善意向書締結

10日 吐魯番泊

12日 ウルムチ泊

13日 帰国



▶ 哈密中心街



▼ ハミウリ畑

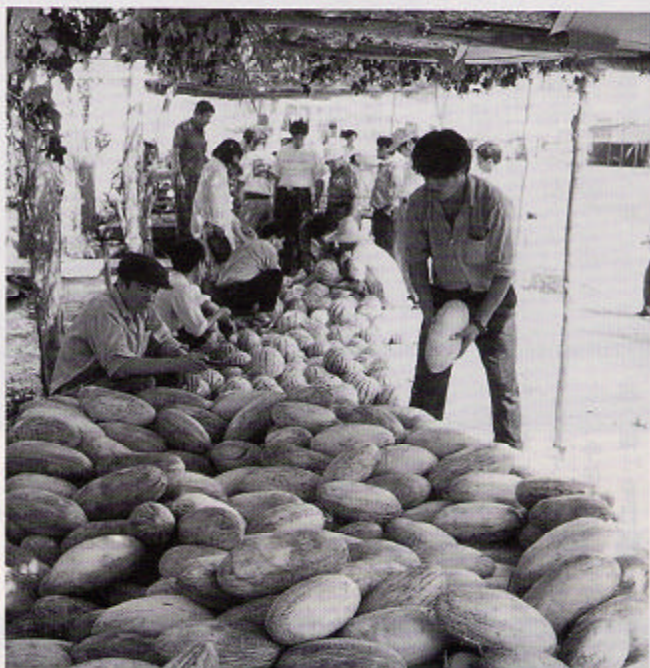


哈密市から約七十km、ウイグル族の集落にて、ハミウリ畑視察。近年、化学肥料の多用によって収穫量が増えたが、味、糖度が落ちたという。十日程早いということだが、糖度十一、二度で水分多く、歯ざわりが良い。北京、上海等にも出荷される。

民族舞踊、夕食等大歓迎を受け、夜遅くまで交流、名残り惜しい一日だった。

一路哈密へ!!、七月五日、成田を発つ。

紀元前三世紀に、すでに烏孫という民族が、放牧を行っていたという悠久の歴史をもつ市、新疆ウイグル自治区、中国の西端天山北路(シルクロード)の重要な宿場町として栄えた哈密市。東西四百km、南北三百二十km、人口二十八万人、民族はウイグル、漢、回、等二十数民族が住むという、天山山脈の南麓の沖積扇状地に位置する市。そこは



▲ ハミウリの路上販売風景

戈壁(砂漠を表す)の茫漠たる地平線の彼方にあった。砂漠の中のアアシスの都市とは聞いていたがウルムチから、夜行列車で十時間半、吐魯番、善善を経て七百kmの哈密へ着いたのは、七月七日、午前八時過ぎであった。駅では、哈密地区行政関係者の出迎えを受け、第一歩をしるす。近代的ビルとレンガ造りの平屋住宅の混在する、ポプラ並木の道をパトカーの先導で、中心街へ。

(以下次回報告)

第五回臨時議会

七月二十日

※平成六年度一般会計補正予算
二億二、八二五万円を追加し、
予算総額
(一〇八億九、三二万二、〇〇〇円)

※各建築工事請負契約

◎下山芸術の森アートスペース
契約金額
(六、五四七万七、一〇〇円)

◎下山芸術の森レストランほか
契約の相手方
廣川建設工業株式会社

◎下山芸術の森レストランほか
契約金額
(七、三三〇万六、〇〇〇円)

◎下山芸術の森レストランほか
契約の相手方
廣川建設工業株式会社

◎入善西中学校大規模改造
契約金額
(一億五、〇〇七万二、〇〇〇円)

◎入善西中学校大規模改造
契約の相手方
吉原建設株式会社

議会日記誌

五月(きつき)

11日 議員定数等検討委員会
他市町研修(氷見市)

20日 議会運営委員会
(福光町)

23日 議員定数等検討委員会

26日 町有林視察

六月(みなづき)

2日 交通網対策特別委員会

9日 議会運営委員会

10日 町内施設等視察

14日 第四回議会定例会

23日 議会広報編集委員会

入善町議会 総務常任委員長

竹内壯太氏ご逝去

竹内議員は、五月二十日開催された議会運営委員会の終了後、二十五日に福井循環器病院に入院するので、六月の定例議会には出席できず、迷惑をかけますがよろしくと案内をうけ、議員一同は手術の成功と早期回復を願って励ましたところでありました。術後の経過も順調で七月一日退院されましたが、体調が急変七月三日急逝されました。かえすがえすも痛恨の極みでありませう。享年六十三歳。



氏は明敏闊達にして、信念の人であり、昭和五十二年十月地元住民の方々をはじめ、勤労者の皆さんの期待を担って、入善町議会議員に初当選され、以来四期にわたり、町政の推進に参画されました。

傍聴席からひとこと

屋木 栄さん

(入膳7区)



私にとって今回の議会傍聴は、昨年の選挙以来3回目になります。退職前は時間的な制約があり、議会のような「議会だより」や新聞で知るだけで、議会はいささか遠い存在でしたが、時間に余裕のできた現在、傍聴をとおして、議会は自分自身の生活にかかわる身近なもの実感するようになりました。

今回は8人の議員から、雇用問題・環境・税金・福祉・米・人権・文化・ダム排砂等の質問があり、いずれも切実な問題として興味深くききました。

今後、1人でも多く傍聴してもらうために、質問要旨を事前に知らせる方法はないでしょうか。

最後に、議場正面壁、右側の緑色部分は、模様なのか何なのか頭をかしげています。

この間、産業建設常任委員会委員長、総務常任委員会委員長、決算特別委員会委員長、交通網対策特別委員会委員長などの要職を歴任され、議会運営の要となってお尽力いただきました。町民会館建設事業をはじめ、入善小学校、総合体育館の建設など、大型事業の推進に熱意をもって取り組まれるなど、住民福祉の向上、地方自治の発展に多大の貢献をいただきました。ここに謹んで生前の功績をたたえご冥福をお祈り申し上げます。

編集の窓

◆昭和二十八年十月一日、大同合併し、現在の入善町が誕生、昨年で四十周年を迎えた。「議会だより」が発行されたのは合併から遅れること二十一年、昭和四十九年四月であり、今年で二十年という節目の年を迎えた。

◆当時の議長嶋田久之氏は、「創刊にあたって」の挨拶の中で、「地方自治は民主主義の基盤であり、単位である」と述べておられる。

◆議会運営委員会を設置し、町民と議会をつなぐ「きずな」として「議会だより」を発行、当時としては画期的なことであった。

◆諸先輩が取り組んでこられた議会改革に深甚なる敬意を表したい。

◆「特別委員会」として初編集した第八十九号は六名の持ち味を最大限に発揮したつもりであるが、皆様の「批評を賜りたい」。一般質問に立たれた議員自ら原稿を書いて頂き、「傍聴者の声」と併せて、寄稿有難うございました。今後とも「読んでもらえる議会報」を目指します。